

飲酒運転撲滅宣言企業 八幡自動車学校



○ 八幡自動車学校 様の紹介

八幡自動車学校は、普通自動車から準中型、中型、大型、大型特殊、けん引、大型二輪、普通二輪の教習を通じて、安全な運転技術の指導を行なっています。近年は、体に障がいをお持ちの方にも運転できる教習車と車いすのまま乗車できる送迎車を導入し、より多くの方に運転の楽しさを伝えています。そのほか、フォークリフトの技能講習やペーパードライバーや高齢者などの運転に自信の無い方への講習も実施しています。運転の技量に合わせた指導を行ない、納得がいくまで練習していただいております。また、小学生向けの交通安全教室を開催し、どのような場所が危険なのか、安全な自動車の乗り方、交通事故以外の危険対策などを指導し、安全に対する意識を高めています。



○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

- ◆ 従業員等への広報啓発活動を行っています。
 - ・全職員から誓約書の提出を義務付けています。
 - ・職員から募集した飲酒運転防止交通標語を朝礼で唱和しています。
 - ・飲酒運転コミックブック等の供覧及び掲示をしています。
- ◆ 従業員等が業務上飲酒運転を防止するための取組を実施しています。
 - ・毎朝の幹部立会による全職員出勤時のアルコールチェックの実施をしています。
 - ・飲酒習慣等の確認のためのスクリーニングテストを実施しています。
- ◆ 従業員等への社内研修を実施しています。
 - ・定期的な飲酒運転撲滅に関する研修を実施しています。
- ◆ その他の取組
 - ・屋外の電光掲示板で地域住民や走行中の車に対し飲酒運転撲滅を訴えています。
 - ・自動車学校で、毎月25日に、飲酒運転撲滅の日の校内アナウンスで1日3回放送しています。
 - ・8月25日から31日までの飲酒運転撲滅週間に自動車学校のロビーで飲酒運転撲滅ビデオを放映しています。



出勤時にアルコールチェッカーで検査を実施しています

○ 八幡自動車学校 様にインタビューに答えていただきました！！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 自動車教習所という職種のため、「飲酒運転撲滅」については、かねてより当校の重点目標の一つとして取り組んできましたが、2006年8月25日に福岡市東区の中道大橋で発生した飲酒運転により幼い子ども3人が亡くなるというショッキングな事故により、業界全体で「飲酒運転撲滅」に対する気運が高まり、当校もそれ以来「飲酒運転撲滅」を最重点課題として取り組んでいます。



屋外の電光掲示板やのぼりの掲示等を行うことで、飲酒運転撲滅を呼びかけています。



Q 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A これまで同様、職員による飲酒運転は皆無であり、全員飲酒運転撲滅に対する意識が高揚した。

Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 今後も、地域の交通安全センターとしての役割を十分発揮できるよう、教習や各講習会及びイベント等において「飲酒運転撲滅」はもとより交通安全活動を積極的に行い、社会に寄与していきたいと思えます。